

# 質疑並びに一般質問

6月定例会では6日間にわたり、市の課題や将来の展望・計画、市政運営がしっかり行われているのかなど、市長などに対して19人の議員が質問しました。ここでは、その一部をお知らせします。

※この記事は各議員が要約して執筆しています。

## 柏清風

つむらや  
のりひと  
円谷 憲人

### 柏レイソルとサポーターの意見交換会開催、本市からも要請を

Q株式会社日立柏レイソルの株主総会において、株主である本市が議案に全て賛成したことについてはわかった。しかし、観客動員が減少している現状がある。これは経済的な部分やまちのにぎわい、チームや柏への愛着といった面でもよくないことだと思うが、どう考えるか。

A市ができることとして、広報でのPRに努めているが、今後も新たな施策について検討したい。

Q平成30年12月議会でも広報に力を入れ、応援の機運を高めていくという話だったが、今のところ成果があらわれないように思う。さらに力を入れてほしい。また、同じく12月議会で、本市は株主としてもレイソルにしっかり成果を出してもらわなくてはならない立場だと申し上げた。例えばもっと地元に着目した取り組みを行ってほしいとか、株主は経営側に意見を言える立場なのだから、しっかり意見してほしいと申し上げたところ、「市民が支えるクラブとして出資している。ゆえに、サポーターとの意見交換会で出されるサポーターの意見が市の意見である」という旨の答弁をいただいた。しかし、こしはいまだにその意見交換会が開かれていない。開催を求めてほしい。

Aレイソルとは連絡を密にしているが、その中でスタジアムに駆けつけるサポーターの中心の方と意見交換を行っているという。ただ、市民からもレイソルがもっと開かれたクラブになるように要望してほしいとの声があるので、意見交換会の開催も含めレイソルには伝えたが、意見交換会の開催については、レイソルに判断が委ねられているという状況だ。

### 高齢者のごみ出し支援の推進を

Q高齢者の中にはごみを集積所まで運ぶのが困難な方もおり、ごみ出し支援は必要不可欠だ。しかし、支援制度がある自治体は少なく、環境省がごみ出し支援制度の拡充に乗り出した。本市もこれを機に高齢者のごみ出し支援を加速してほしいと考えるが、見解は。

A既存の制度のほかに、家庭ごみの収集作業の中で工夫できないか協議、検討を進めている。環境省も今年度中に自治体向けガイドラインを作成する予定としており、その内容や既存事業への影響、関係者との調整を踏まえつつ、将来にわたって持続可能な支援体制を考えていく。

### 子供たちの安全を守る公園の防犯カメラ

Qかねてから子供たちだけで遊びに行く公園への防犯カメラの設置を提案しているが、検討状況は。

Aこれまでは公園内の設置が補助対象となっていなかったが、30年度に町会、自治会等が設置する防犯カメラに対して補助金が交付される制度が創設され、道路上だけでなく公園内への防犯カメラも補助対象となった。日ごろの公園の利用状況をよく把握している地元町会、自治会等がこの制度を活用し、設置していただくことが最も適していると考えている。



### 小学校への教科担任制への見解は

Q文部科学省が小学5、6年生の特定の教科、科目について専門教員が複数の学級を受け持つ教科担任制を推進する方針を固めたが、教育委員会の見解は。

A教科担任制の利点として生徒指導面での情報共有や問題の早期発見・対応につながることで、教員の授業準備時間の短縮等が挙げられる。一方、課題としてはほかの学級を指導する場合、児童の能力や特徴の把握が不十分になる可能性があることや、時間割編成の調整の難しさ、学習進度に差が出たりする可能性があることが挙げられる。本市教育委員会としては、専門的であり質の高い授業の提供や教員の負担軽減につながるものと認識しており、今後も推進に向けて引き続き調査研究をしていく。

## 柏清風

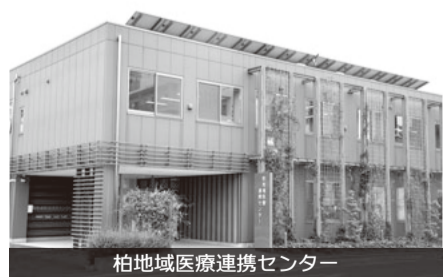
ふるかわ  
たかふみ  
古川 隆史

### 在宅医療について

Q今般の市政報告の中で、在宅医療を推進するために市内の医療機関や介護事業者等に在宅医療ステッカーを掲示しているとの報告があったが、現在実際に在宅医療を利用している市内の方々は何人いるのか。

A千葉県が実施した国保データベースの分析によると、平成29年10月の1カ月間に訪問診療を受けた数が2,249名となっ

ている。柏地域医療連携センター<sup>知+</sup>で受ける相談内容等の割合で、半数以上の



柏地域医療連携センター



### 柏地域医療連携センター

在宅医療を含めた地域医療・介護を推進する拠点として豊四季台一丁目に整備された施設で、本市地域医療推進課が運営する総合窓口のほか、柏市医師会事務局、柏歯科医師会事務局、柏市薬剤師会事務局が併設されている

### クラウドファンディング

「群衆 (クラウド)」と「資金調達 (ファンディング)」を組み合わせた造語で、アイデアやプロジェクトを持つ起案者が、専用のインターネットサイトを通じて、世の中に呼びかけ、共感した人から広く資金を集める方法。本市では、全国的にも珍しい、かやぶき屋根の旧手賀教会堂の保存修理事業に導入する予定

### インバウンド

元々は「外から中に入り込む」という意味。主に外国人が日本を訪れる旅行のことを指す。日本から海外への旅行はアウトバウンドと呼ばれる

### 発電機つきバルーン投光器

従来のものとは異なり、360度むらなく照らすことのできる投光器。本市では防災備蓄倉庫に保管され、災害時等で使用される



方ががん患者になっている。また要介護2以上の方が相談の9割を占めている。

### ふるさと納税

Q本市における最新の寄附者数、及び本市から出ていった金額、入ってきた金額は。また、この制度は高額所得者優遇であると言われるが、本市の高額寄附者上位5名の寄附額と控除額は。

A昨年度の寄附の受け入れ額は日本全国から約3,000件、金額にして約1億1,500万円の御寄附をいただいた。一方、本市の市民が他自治体に寄附し、確定申告等により控除されたことによる30年度の市民税の影響額、いわゆる流出額は約5億1,000万円、制度利用者数は約1万3,000人となっている。29年度に他自治体へ寄附された上位5名について、最高額は約1,000万円の方が1名で、30年度の市民税の控除額は約300万円、寄附額上位5名の寄附金総額は約3,100万円で、これに伴う市民税の控除額は約1,000万円になっている。

Q1,000万円寄附をして市民税だけで300万円も控除されてしまう。ここで議論することではないのかもしれないが、制度自体については、大阪府の泉佐野市等の話の中で、国と地方のあり方のような話に焦点が当たっている。しかし実際問題として、やはり肌感覚としてこの制度がどうなのかなという印象がある。

A確かに現在のふるさと納税の制度は、高価な返礼品を目的に寄附をされている方も正直いらっしやと思う。特にその場合には、高所得の方が大きな利益を得るといのもそのとおりであると思う。もともとこの制度は、ふるさとへの思いや、頑張っている地域を応援したいとい

## 公明党

こいずみ  
ふみこ  
小泉 文子

### 防災・防犯について

Q女性の視点を生かした防災対策を実施し液体ミルクの備蓄をしてはどうか。

A間仕切りパーテーションや発電機つきバルーン投光器<sup>知+</sup>などを配備し、段ボールベッドや清潔なトイレなどを調達している。現在女性消防団員14人が入団しており、地域の防災リーダーの育成に努めている。液体ミルクは防災・復興の取組指針の改正内容にあわせて検討する。

Qペット同行避難に備え、避難所に獣医師の配備が必要ではないか。

A今後、東葛地域獣医師会との災害時動物救護協定を踏まえ整備していく。

Q犬の散歩コースを通学路などにして子供たちを見守るわんわんパトロール<sup>知+</sup>運動を市民に広めてはどうか。

A改正動物愛護管理法が可決しマイクロチップ装着が法制化されることになり、その助成があるわんわんパトロールについて今後必要に応じて周知していく。

### 動物行政について

Q会員動物病院で注射や登録、鑑札と注射済票交付事務を一括して行い、飼い主の利便性を向上すべきではないか。

A動物病院に委託することが適当と考えており、今後システムを構築し、委託化を推進していく。

### 建設・経済行政について

Q高柳駅東口駅前まちなみづくりの今後の整備計画はどうなっているか。

A駅前広場の大きさや形状を確定させるため道路の基本計画について関係機関と協議を進め、権利者の方と検討会を開き駅前広場の整備範囲の確定に努める。



高柳駅東口駅前広場



道の駅しようなんの拡張にあわせ来年のオリンピックの聖火リレーが通るときにイベントを開催すべきではないか。また手賀沼を臨みながら結婚式を行うなどさまざまなイベントを行うことも考えるべきと思うがどうか。

A 聖火ランナーが走るのに関係部署と連携し実施していく。手賀沼フィッシングセンターでは実際に結婚式も行っている。道の駅を含めて今後もっと人が集まるよ

う努力していく。

### 交通行政について

Q 高齢者の交通事故が多発しているが、運転免許証を返納する市民に対する市の取り組みの考えはどうか。

A 高齢者の交通事故防止について、何が有効で何を求められているか分析し本市に適した施策に取り組んでいく。また路線バスの延伸等の協議や公共交通空白不便地域の対応策を検討していく。

は、その73投票所を無線回線でつなぐ費用負担、利便性の高い一部の投票所に集中することによる駐車場や投票所での混雑の緩和などである。時間を要するが一つ一つの課題を検討し、解消に努め投票環境の向上を目指したいと思う。

### 免許証返納による付加価値について

Q 他市では、バス、タクシーの割引券など、自治体によって自主返納を促す多く

の特典を設けているところもある。免許証がなくても移動に困らないまちづくりを全力で進めてほしいと思うが。

A 市内の75歳以上の方で免許を持っている方は1万5,000人ほどいる。この方々が車を使わなくとも移動できるまちづくりは大切だと思っている。公共交通事業者であるバス会社やタクシー会社とも協議をしながら考えていきたい。

## 公明党

こまつ さちこ  
小松 幸子

### 市立柏病院について

Q 市長は、柏市健康福祉審議会の答申で出された、建てかえの条件を重視されてきた。現在地を前提に検討という、附帯意見に関しても重要視されているか。

A 審議会の皆さんからの意見は病院のバランスからいっても、このエリアが適当であるということだと思っている。十分鑑みたい。

Q 未達成である入院稼働率について、達成されたら早期に考えるという判断か。

A 審議会の話は、今の状況の中で公立病院として大事な小児の二次救急体制<sup>知+</sup>を整えることと、経営基盤を整えて、建てかえ後、順調に公立病院としての役割を発揮するということだと思うので、そういったことが固まり次第、進めていきたいと思っている。

### 北柏駅バリアフリー化と駅周辺の活性化

Q 北柏駅北口土地区画整理事業に伴って進めている北口のバリアフリー化の検討状況と、駅周辺の活性化、商業施設等の



北柏駅北口周辺の現在の状況

立地検討の進捗は。

A 既存の北口連絡通路のバリアフリー化については、駅改札を出て北側にある20段の階段が大きな課題となっている。市では土地区画整理事業で整備する北口駅前広場と駅舎とが直接つながる新たな自由通路整備を検討し、バリアフリー化を進めるため30年度より基礎調査を進めている。完成すれば北口駅前広場とあわせバリアフリー化が実現するため、JRとの協議検討も進める。駅周辺における商業等の利便施設については、北柏駅北口の国道6号と鉄道との間にある一団の土地1.4haを対象に商業等の利便施設立地の検討を進めている。にぎわいや利便性をもたらす商業施設等を立地させるために、まず本市を含めた複数の権利者と、29年度より権利者勉強会を立ち上げ、意見交換を行い検討している。30年度は、商業施設等を整備する民間事業者数社から事業の実現性に関するヒアリングを実施し、大まかな施設配置の提案を受けるなど取り組んでいる。

### 田中小学校東側面道路について

Q 田中小学校東側面道路は、特に狭いところでは3m90cmしかない道路である。道路と学校フェンスとの間の未利用地を有効に利用し安全に通行できるよう検討していただきたい。

A 児童及び歩行者の安全を第一に考え、学校、関係部署と協議を進めていく。

## 日本共産党

やざわ ひでお  
矢澤 英雄

### 市立柏病院

Q 病院の医師・看護師と地域住民は、よりよい病院にするために、無料の地域講座や環境整備等、どこの病院にもないような努力をして信頼関係をつくり続けている。この努力をどう見ているのか。

A 大変感謝している。

Q 市長が、老朽化した市立病院を建てかえたと表明すれば、利用率が上がり小児科も充実するのではないか。

A そういった効果もあると思う。

Q 早期現地建てかえを表明するように。A 経営改善に取り組んだ上で建てかえについて判断する。

### 市役所のバリアフリー

Q 訪れた人の目線に立った改善を。

A まだ不十分な点もある。今年度1階、

2階、3階のトイレを洋式化する。利用者の目線に立った庁舎案内に努める。

### 交通行政

Q 我孫子市のように、運転免許証返納者への本市独自の優遇制度をつくること。バス会社、タクシー会社に働きかけて優遇措置を実現することを求めるがどうか。

A 公共交通事業者と今後協議していく。

Q コミュニティバスは、問題、課題が明確なところから運行するように。

A 布施新町から市立病院の交通については、需要に応じた施策を検討する。

### 通学路の安全対策

Q 戸張街道で「ゾーン30<sup>知+</sup>」など、運転者に注意喚起の道路標示をしては。

A 「学童注意」等の路面標示の実施を関係者と協議、検討していく。

## 日本共産党

むとう みつえ  
武藤 美津江

### 中央公民館の代替施設

Q 大手商業施設のスペース、会議室を活用できないか。

A 現時点では、公の施設を中心に考えていく。

### 中央体育館の代替施設

Q 2020年5月から2021年2月まで、改修工事が予定されている。代替施設をどのように考えているか。

A 沼南体育館、学校の体育館などの公共施設を初め、民間の体育館も含め調整を行っている。

1,000円の負担をすれば、その後は市内の路線バス、路面電車、乗り合いタクシーなどに1回100円で乗ることができる。堺市の経済波及効果は、6.3億円の経費で55.7億円。本市もコミュニティバスの一日も早い実現と高齢者が気軽に外出できて元気になる、経済効果も見込まれるお出かけ支援制度を導入することを提案する。

A 高齢者が日常的に必要な移動を支援するため、本市に適した制度や施策の推進に取り組んでいく。

### 市営住宅の建てかえを

Q 高柳第3団地は、本市と沼南町が合併したときから廃止の方向であり、根戸、宿連寺、高野台改良住宅、向原団地は廃止の方向である。計画の見直しを行い、高齢者、障害者が住めるようなバリアフリーの住宅を建てる必要があるのでは。

A 住宅に困窮している低所得者に配慮した住宅施策を調査研究する。



中央体育館

### 高齢者お出かけ支援

Q 堺市では、65歳以上の方が最初に

## 公明党

なかじま たかし  
中島 俊

### 学校における医療的ケアの実施について

Q これまでの間、医療的ケアを必要とする子供たちは、地域の小中学校に入学することが困難であったり、入学しても医療的ケアを実施する体制と人的支援が整わないため、保護者が毎日学校に出向き、我が子のケアを行ってきた。現在、本市の学校では、医療的ケアの実施に向け、どの程度体制が整っているか。

A 今年度市内小学校に入学した児童1名が、教育支援員<sup>知+</sup>のケアを受け学校生活を送っている。今後は、庁内関係部署、医療機関を初め関係機関との連携を密にし、医療的ケアの体制整備を進めたい。

Q 看護師確保も重要とのことだ。看護師を含む福祉部門や学校教育部、また市役所全体で取り組むべきと思うが。

A 市役所全体で子供の面倒を見ていくべき部分があると思うので、そのための体制を次年度に向けて進めたいと思う。

### 投票率の向上について

Q 当日投票所のあり方について、投票所が遠くて困る、近所の投票所がなく、区域が違うために別の投票所に行かなくてはならず、不便だとの声が市民からある。解消方法として、共通投票所ということ聞いたがどのようなものか。

A 共通投票所とは、当日投票においてこの投票所でも投票できるもので、利便性の高い投票所である。そのためには、市内73全ての投票所を専用回線で結ばなければならない。開設に向けての課題



## 日本共産党

ひらの こういち  
平野 光一

### 各種指標で中核市平均以下はなぜか

Q 3月議会で私は、千葉県の財政力は全国4位なのに福祉・教育の予算は最下位クラスという実態を示し、千葉県政への評価を市長に質問した。市長は、「住民ニーズや地域課題は一樣ではない」「行政需要にどれだけ対応できているか等さまざまな視点から評価すべき」と答弁した。

それでは本市はどうか。本市は人口、市税収入は中核市48市の平均以上だが、

財政力指数<sup>知+</sup>は上から何番目か。博物館・美術館が中核市平均7カ所なのに本市はゼロである。都市公園の1人当たり面積は平均の38%、市営・県営住宅は平均の13%。市民ニーズや行政需要を満たしていると言えるか。

A 財政力指数は48市中8位、人口の伸び率は1位である。一方、都市公園1人当たり面積は44位、市営住宅戸数は45位、これ以外にも職員数などで中核市平



### わんわんパトロール

子供たちが犯罪に巻き込まれないように地域ぐるみで見守るため、犬の飼い主の協力を得て、子供たちの下校時などに犬の散歩をしてもらう運動



### 二次救急体制

24時間体制で救急患者の受け入れができ、手術治療も含めた入院治療を提供できる設備が整っていること。一次救急は軽症患者、二次救急は重篤患者を対象としており、二次救急より高度な救急医療が可能な体制を指す

### 教育支援員

特別支援学級及び通常の学級に在籍する児童生徒を対象とする生活及び学習の支援を行う人。医療的ケアを必要とする児童生徒に対しては、看護師資格を持つ職員が医療的ケアを含め支援を行っている

### ゾーン30

生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした交通安全対策の一つ。区域(ゾーン)を定めて時速30km/hの速度規制を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における車の走行速度や通り抜けを抑制する



均を下回っているが、数値だけで単純に判断することは困難だ。

### 市内の景気悪化に本市は何をするのか

Q本市の商工予算は中核市平均の40%、高崎市の12分の1しかない。市長は3月議会で消費税増税について「延期は求め

ない。増税はやむを得ない」「影響緩和、消費意欲喚起に向けた施策に着実に取り組む」と答弁した。だからプレミアム付き商品券(知+)以外にどんな施策を実行するのかと質問したが答弁がない。

A今後については商工会議所と協力しながら検討する。

の検査でもある程度の精度は保たれている。

### 南柏駅西口駐輪場について

Q今年からくいが立っている。大きな荷物を持っている日や雨の日は洋服が汚れてしまう。どのような形で改善するか。

Aくいの配置自体を見直し、通行性が上がるように改善し利便性向上に努める。

### 大津川左岸第6号雨水幹線整備

Q浸水被害解消のために機能的整備は早急に必要である。現状と今後については

どうか。排水のできる環境にある雨水幹線に、地域住民が協力することにより水辺に親しめる空間施設を要望している。

A当該地域の約270haを事業計画区域に編入した。今年度は排水区全体の整備方針、現況測量を実施する。2年度は用地の確保や基本設計に入る。水辺や公園等の環境空間を創設することは地域にとって有効な活用と認識している。地元や関係機関及び関連部署と調査研究する。

## 日本共産党

わたべ かずこ  
渡部 和子

### 柏駅西口北地区再開発事業

Q3棟のタワーマンションや多額の税金投入について市民に意見を聞くべき。

A道路や広場等の公共的施設について市民から意見を伺っていきたい。

Q総事業費や補助金を明らかにしないが、情報公開のあり方に問題はないか。

A問題ないと思っている。

### 市立柏病院の早期現地建てかえ

Q建てかえについて市長は判断を先送りした。経営改善に、市長自身は最高責任者としてどんな努力をしたのか。

A病院の経営は医療公社の裁量に委ねている。小児科医の派遣をお願いした。

Q移転がなくなった途端にハードルを上げているのではないか。

A柏の葉への移転は院長先生の判断。そ

の後基盤を固めるべきと指摘を受けた。

### 保育行政

Q資格を持っていない時間外保育士の時給は9年間変わらない。上げるべき。

A来年4月から新たな制度が導入されるので、臨時職員全般の改善を行う。

Q時間外保育士の仕事を見直すべき。

A業務の見直しや効率化を図る。

### 通学路の安全対策

Q緑町ふるさと会館脇の横断歩道はいつ設置されるのか。

A県に確認したが、時期は検討中とのこと。

Q十余二小の通学路は危険な箇所がたくさんある。信号機の設置を含め、安全対策に力を入れてほしい。

A関係機関と協力して、安全確保を第一に取り組んでいく。

## 日本共産党

くさか こ  
日下 みや子

### 高い国保料への対策を

Q今後引き上げられていくであろう県の標準保険料率と保険料引き下げの対策を。

A千葉県が示す標準保険料率の上昇は避けられない。財政調整基金を活用して負担の増加の抑制をする。保険料の引き下げは国の財政支援の拡充が必要である。

### 市民の足の確保にまず市役所へのバスを

Q市役所へ訪れる方の中には、つえをついたり、荷物を提げたり、足を引きずる方もいる。厳しい暑さに向かうがバリアフリー対策としても急いで対策をとるべきだ。

A市役所への足の確保は重要だと思う。交通不便地域とあわせて協議する。

### 全国学力テストの問題点

Q出題傾向に沿って事前指導していると聞くと、受験に向けた塾のような指導を学校が行って、真の学力向上になるか。

A本市でやっているという報告はない。それをやる意味は余りないと思う。

### 地球温暖化対策は不十分

Qパリ協定(知+)に対して日本が掲げる目標は不十分だ。本市も削減どころか、8.5%も増加してしまった。CO2 24%削減も達成が危ぶまれるのではないか。

A第二期温暖化対策計画のどこが足りなかったか分析している。そこを生かしてCO2削減に努めている。



### オスプレイは受け入れるべきでない

Q木更津駐屯地へのオスプレイの「暫定配備」で訓練場所を習志野演習場としているが、下総基地に立ち寄らないか。

A具体的内容は確定していないとのこと。情報収集に努めていく。

## 柏愛倶楽部

よしだ すずむ  
吉田 進

### 風早北部小学校について

Q児童数に対して校庭等の施設面での狭隘化を危惧するが適正か。時限処置による分離、分校新設の考えはどうか。

A市内平均と比べて狭い現状である。人

口推移等を注視しながら、適正な学校規模の維持を図る。

### フォトスクリーナーについて

Q3歳児健康診査の眼科検査で異常が見逃されると治療がおくれ、十分な効果があらわれない。本市は眼科医の健診もないことから異常を見逃さないために、オートレフラクトメーターかフォトスクリーナーを用いた屈折検査や両眼視機能検査で、正確性を保てる方法を使用しているか。

A本市の検査で全体の4%くらいが何らかの屈折異常や斜視となっている。現在



風早北部小学校

## 柏愛倶楽部

ながの まさとし  
永野 正敏

### 教育行政

Q教職員の負担軽減のためにも、スクールロイヤー(知+)を導入すべきでは。

A学校現場では困難な問題も増加しており、外部の専門家や専門機関との連携等、教職員のサポート体制を充実させる必要がある。国の調査や既に導入した近隣市の情報を得て導入の研究をしていく。

Qこれからの教育には、家庭と学校と地域の連携が必要不可欠となるが、コミュニティスクール(知+)の今後の展望は。

A今後5年間で全小中学校に学校運営協議会を設置する。学校で何をやっているのかということを家庭や地域に周知し、これまで以上に地域の力を生かした地域とともにある学校づくりを目指していく。

Q学校トイレ改修事業の進捗は。

A5年度までに各学校の全ての校舎のトイレ改修工事が完了する。工事後の洋便器率は92%。多目的トイレについては来年度末には全ての学校で設置完了する。

### 子育て支援

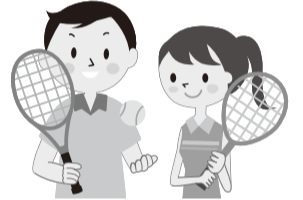
Q病児・病後児保育を増設すべきでは。

A市民ニーズの高い事業と認識している。まずは既存施設の安定的な運用と中央地区に1施設を新設することに向けて取り組んでいく。

### スポーツ振興

Q特に働く世代のスポーツ実施率が低いのが対策は。

A本市では、オールブラックスやイギリス車いすテニスの事前キャンプが控えており、出場選手と市民との交流機会や大会開催の機運醸成に取り組み、スポーツの魅力を実感してもらえよう努める。また、幼児期の運動習慣が将来につながることも考えられるので、未就学児への取り組みに向け、関係部署と連携を図る。



## 柏愛倶楽部

おかだ ちか  
岡田 智佳

### 地域の活性化

Q行政境に暮らす人の声が、より市政に反映されるような仕組みが必要と考えるがいかがか。

A市民の意見、要望をあまなく市政に反映させるのは難しいが、全ての案件を慎重に検討し、市政に反映が難しい場合には、丁寧に説明していく。

### 高齢ドライバーの運転免許証自主返納と割引制度

Q交通手段がなく返納をちゅうちよしている高齢者が、免許証を自主返納できるようコミュニティバスの早期実現と割引制度の導入を検討してほしいが、いかがか。

A割引制度については、市内の交通事業者と協議していく。また、自動車に頼らなくても移動できるよう、公共交通網の整備についての検討を進めていく。

### 藤心〜しいの木台を結ぶ道路の実現

Qこの道路は、平成14年に計画されているが、進捗状況は。また、東武線複線化により跨線橋が片側交互通行となって大変危険である。早急に対処してほしい。

A現在、現地測量を終え、公安委員会との協議を実施している。今後、用地買収を行い、8年度の整備完了を予定している。議員指摘の跨線橋は、安全対策を講じる必要があり、緊急対応も含め対策を講じたいと考えている。

### 市立柏病院の建てかえ

Q2条件のうち、病床利用率については、わずかに達成できなかったものの経営は確実に改善しており、また小児科については常勤医師もふえ、入院体制が整うなどこれから期待できる。建てかえに前向きな検討をお願いしたいが、いかがか。

A経営改善に向けた取り組みをした上で判断していく。

## 柏愛倶楽部

やました ようすけ  
山下 洋輔

### 子どもを取り巻く環境の改善と学校教育

Q交通事故や不審者から子どもの命を守り、子どもが豊かに育つ通学路を。

A地域と連携した見守り活動と歩行者や交通弱者の安全確保に取り組む。

Q子どもの貧困についての現状認識と児童虐待・DVについての対策は。

A市内全児童生徒の9%が就学援助と学習支援を受けている。関係機関と連携し、児童虐待とDVへの対策を強化する。



### 財政力指数

地方公共団体の財政力の強さを測る値で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる

### プレミアム付き商品券

消費税率の引き上げに伴い、低所得者と子育て世帯を対象に販売される商品券。購入対象者は、今年度住民税非課税者(住民税課税者の生計同一の配偶者・扶養家族等を除く)と、平成28年4月2日から令和元年9月30日までに生まれた子供がいる世帯の世帯主。1セット5,000円分が4,000円で販売され、1人当たり最大2万5,000円分まで購入することができる。令和元年10月1日からの販売を予定している

### パリ協定

2020年以降の気候変動対策について、先進国、開発途上国を問わず全ての締約国が参加する公平かつ実効的な法的枠組み。産業革命前からの平均気温の上昇を2℃より十分下方に保持し、1.5℃に抑える努力を追及することなどを目的としている

### スクールロイヤー

法律の専門家である弁護士が、その専門的知識・経験に基づき、学校において法的側面からのいじめ予防教育を行うとともに、いじめなどの諸課題の効率的な解決に資するよう、学校における相談体制の整備を行うもの



- Q 市内地域間の教育格差への対策は。
- A 地域特性を理解し、市内全ての子どもの学びを保障する体制を整えたい。
- Q 教員の働き方改革にあわせて、PTA改革と教育センター設置を行っては。
- A 学校を地域で支える観点を踏まえ、見直したい。教育センターは、今ある教育研究所の活用推進と充実を図りたい。
- Q 国際バカロレア<sup>知+</sup>導入への見解は。
- A 実践例を研究していきたい。
- Q 学校図書館を開放し、地域に開かれた学校づくりを進めていくべきでは。
- A 学校と図書館分館の連携を検討したい。

## 市民サイド・ネット

- 市債残高の削減
- Q 2017年度の本市の合計債務残高は1,553億円だった。臨時財政対策債<sup>知+</sup>の発行を抑制することにより、市債残高の増加を回避できないのか。
- A 今後は公共施設の老朽化対策等により、新規借入額を元金償還額以内に抑制することが困難になることも想定される。
- 市立病院の建てかえ
- Q 市立病院建てかえ後の病床利用率は何%を目指すのか、それを達成するために、建てかえ前に何%必要なのか。
- A 仮に病院を建てかえた場合でも引き続き安定的に運営するためには80%以上は必要だと考える。
- Q 病床利用率は既に78.3%ある。建てかえたら80%は明らかに見込める。病床利用率の見込みを精査すべきだ。
- A 今の段階で高い病床稼働率でなければ建てかえ後も高い病床稼働率が望めないと思っている。
- Q 病床利用率がどれくらいになれば、安定した経営状態と言えるのか。
- A 何%という形で言うことはできない。毎年病床稼働率を上げることで経営基盤

## 市民サイド・ネット

- 虐待予防
- Q 児童虐待の背後にはDVがあるケースも多い。DV加害者には被害者への支配欲、独占欲、固定的な性別役割分担意識が多く見られるため、人権教育の推進が必要だ。本市では各校が独自予算で取り組んでいるため広がらない。市長政策として予算化するべきではないか。
- A より効果的な人権教育のあり方を検討し、適切に推進していく。
- PTA改革
- Q PTAの負担軽減について、任意団体の問題として行政は放置してきたが、市長や教育委員会が改善を図る例もふえた。本市も取り組むべきではないか。
- A PTA連絡協議会は改革への意識を共有している。実際に見直した学校もある。他市も参考にしながら、教育委員会と連



図書館 高柳分館

- A 公共施設活用の中で検討したい。
- Q 市民活動や起業を支援し、地域課題解決を目指す空き家バンクを設置しては。
- A 他市の事例を研究していきたい。
- 再チャレンジ可能な社会を目指して
- Q 社会を明るくする運動の推進を。
- A 関係団体とともに取り組んでいく。
- Q 更生保護サポートセンターの設置を。
- A 重要かつ喫緊の課題と認識し、早期に意見調整し、具体的に検討を進めたい。

## 市民サイド・ネット

- を確立することが大事だ。
- 柏駅西口北地区再開発事業
- Q 柏第一小学校の目の前で、超高層マンション建設が想定される。児童数の急増に対して受け入れが可能なのか、日照はどの程度影響を受けるのか。児童、保護者への説明はどうするのか。
- A 児童数の増加予測や日陰による影響について、計画を進める上で準備組合が対応していくべき事項だと認識している。
- Q これまで一切説明されていない。計画案を出してから、理解が得られなければ変更するのか。
- A 隣接の学校があることは条件の一つになっている。準備組合としても計画を立てる中でそこにどう対応ができるか考えながら計画を決めている。



柏駅付近の航空写真

## 市民サイド・ネット

- 携していきたい。
- ブロック塀改修促進
- Q 30年度、小学校の通学路でブロック塀等の点検調査が行われたが、通学路以外の調査もするべきではないか。また、特に劣化が激しい危険なブロック塀について、危険性の周知が必要ではないか。
- A 問い合わせがあれば通学路以外も現地調査をしている。今後も自己点検や安全対策の情報提供、啓発を継続していく。個人所有であるため、危険なブロック塀の場所を特定した公開は難しいと考える。
- Q 所有者が改修できない理由を調査し、補助金運営に生かすべきではないか。
- A 体制づくりは考えていきたい。
- Q これまでの工事費と補助金の平均額や工事費の一例など、所有者がイメージしやすい情報を提供すべきではないか。

- A 検討していく。
- 柏駅西口北地区再開発計画
- Q 市民への情報公開と、市民の意見の計画への反映はどのように行うのか。

## 護憲市民会議

- 市立病院建てかえ問題
- Q 建てかえはどこで決めているのか。市長一人で決めているのか。
- A 病院建てかえの条件に達しなかった。多額の建設費に対応するには経営基盤を確立することが大事である。
- Q 病院の建てかえ条件に達しなかったのは恣意的に80%を78%にしたからではないか。達成しなかった理由は何か。
- A 病床利用率80%に至らなかった原因はベッドコントロールが機能しなかった。
- Q 建てかえ条件に達しなかったことの責任をとるべき。その責任は市長にあり、辞職すべきだ。
- A 院長先生は公立病院としての公的役割や医師の招聘、経営について考え、その考え方を聞いた上で市長の私が判断している。
- Q 市長が言っていることは、ころころ変わっている。病院は老朽化のため建てかえるものだ。院長が建てかえに口を出すものではない。市立病院は金もうけではない。一人一人の市民の健康を守ることだ。
- A 結果的に二転三転しており大変迷惑をおかけしている。今後も、院長先生と話し合いながら決めていく。
- Q ごたごた言わないでほしい。達成できなかった原因は何か。達成できなかった

## 無所属

- 市立柏病院の建てかえについて
- Q 市立柏病院の建てかえに向けた病院の医療スタッフと地域住民の病院への貢献には涙ぐましいものがある。現地建てかえを前向きに考えてもらえないか。
- A 経営改善への各種取り組みには、大変感謝している。
- Q 市立柏病院問題は、6年前の中期構想のときからハードの老朽化の問題だった。市長が移転を目指したとき、移転建てかえによる経営基盤の確立を当然視していて、それを問題視されなかった。市長は現在地でも建てかえ効果で病床稼働率が上がることを認められた。それにもかかわらず、なぜ現在地の建てかえについて

## 無所属

- 市長の政治姿勢について
- Q 南部・沼南地域の地域医療と回復期医療を担うための対策は何か。
- A 市の医療機関には353床が配分され、その中には南部地域に新規建設を計画する病院の104床が含まれている。病床配分された病院は令和4年3月末までに整備または着工することを条件とされている。
- Q 東海第二原発の再稼働問題に係る説明会を開催してはどうか。
- A 本市は避難対象自治体ではないため、

- A 準備組合の計画案が示されたらホームページで公開し、パブリックコメント<sup>知+</sup>を行う。

## すえなが やすぶみ 末永 康文

- 責任をとるべきだ。
- A 病床稼働率が上がらなかった部分に関しては次の経営に生かしていく。
- 協働推進活動
- Q 特定の団体のCDだけに市長の写真が掲載されているが果たしてどうなのか。
- A CDジャケットに市長の写真が掲載されているが、承諾を求められていない。市民に誤解を与えてしまう懸念があることから、デザインの変更をお願いする。
- Q 同一人物が代表となっている団体に補助金が20万円ずつ出されているが、領収書がでたらめだ。不正が行われているのではないのか。
- A 領収書等は適正なものだとしていたが、受け取っていない事実を知ったので、補助金の取り消し等も検討する。
- 公園の遊具の改修
- Q 市長は子育て支援と言うならば公園の遊具を取りかえるべきだ。
- A 不便をかけているが、新たな遊具の設置は利用者の声を聞きながら進める。



## かみはし いずみ 上橋 泉

- だけ経営基盤の確立を問題視するのか。
- A 柏市健康福祉審議会から、経営改善をしてから建てかえるべきとの意見をいただいた。病院建てかえの事業費は市税と市の借入れにより賄われるため、経営改善してから建てかえなければ市民の理解は得られない。



市立柏病院

## うちだ ひろき 内田 博紀

- 現時点では住民説明会の開催は難しい状況だが、住民説明会を求める署名活動等の動きもあることから、どのような対応が可能か、引き続き調査研究をする。
- Q 東海第二原発の廃炉を求めるべきではないか。
- A 再稼働の案件については、周辺6自治体において慎重な意見や反対意見があること、係争中ということもあり、日本原子力発電株式会社と周辺6自治体との協議の動向や司法の判断に注目したい。

**知+**

**5** コミュニティスクール

学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に取り組む「地域とともにある学校」に転換するための仕組み。地域ならではの特色ある学校づくりを進めていくことができる。本市では、今年度から取り組む重要な施策の一つとして、西原小・西原中・柏の葉小・柏の葉中の4校をモデル校として「学校運営協議会」を設置した

**6** 国際バカロレア

国際的に通用する大学入学資格（国際バカロレア資格）を与え、大学進学へのルートを確保することを目的として設置された、国際バカロレア機構（本部ジュネーブ）が提供する国際的な教育プログラム

**6** 臨時財政対策債

地方債の一種。本来は地方交付税として国から交付されるべきお金を、市が一時的に借金をして立てかえているもの。借金の返済に当たっては、国から分割してお金が交付される仕組みだが、返済するまでは市の債務として計上される

**6** パブリックコメント

市の基本的な政策等の策定に当たって、その案の趣旨や内容等を示し、広く市民からの意見や情報を募集するもの